

SNOW IMPACT MAP

Based in Tokamachi

雪は、制御も放置もできない存在です。雪国では、人智を超えた存在である雪と何とか折り合いをつけながら生きようとする中で、独自の暮らしのリズムや美意識が育ち、技術や文化が生まれてきました。雪への応答の結果として生まれたこれらを「雪のインパクト」として可視化を試みました。各要素はここまでに見出されたもので、これに尽くされるものではありません。また、要素間をつなぐ線はあくまでも例示です。ご自分なりのつながりを見つけてみてください。

雪



● 雪の働きかけて生じるものごと

● 雪から生まれた技術・文化・産業



雪の物質への働きかけ

雪の人間精神への働きかけ

雪の社会・生活への影響

雪から生まれた技術・文化・産業

● 雪の働きかけて生じるものごと

● 雪から生まれた技術・文化・産業

水のかん養

- 安定して水を供給

地力の向上

- 雪の下で畑が休む
- 雪が養分を運搬

保つ

- 雪蓋で野菜を保存

清める

- 空気中のほりなどを回収
- 雪れらしで積物を漂白

風景をつくる

- 他にない景観
- 美しい雪景色

白くする

残る

- 数か月にわたり影響

成る

形づくる

- 人間の力を形を委ねて固定可能

覆う

来る

- 毎年定期的な到来
- 降りてくる制御不能

吸う

遊る

- 積物を覆って遮光
- 自然や道路系など
- すそを被覆

押する

壊す

- 家や道に破壊

和らげる

静める

- 音や衝撃を吸収
- モロクロ、無雪の世界を形成

融ける

感嘆

- 晴れた日の美しさ
- 忘れられない
- しみわたり経験

融ける

徒労感

- 除雪してもすぐ積雪

美味しい食材

- えぐみのない山菜
- あまみのある野菜

雪あそび

- かまくらなどの子供たちの遊び
- 市民参加での雪あそび

ウインタースポーツ

- 体育の授業のクロスカントリー

対処

- おつち時間
- 近所の人を呼んでお茶を飲む
- 花札などの家遊び

冬場の仕事

- 農家・建築業者のダブルワーク
- 農家女性の冬の働け口
- 雪の輸物産業

保存食

- 漬物・乾物などの食へ方
- 保存食について

外部とのつながり

- 外から人が来訪

外部との接点

- おつちを呼んで酒を飲む
- 近所づきあい
- 雪を介した近所づきあい
- 雪が家庭内や社会の仕事を生み出す

親しみ

- 得体の知れない愛着
- 降らないと物足りない

遊び心

- 飛び降りたりの無茶
- かまくら・雪佛づくりなどの雪遊び

辛抱強さ

- 雪を待ち待てる
- 積まない雪への諦め

感謝

- 雪の恵みで生活・文化が成立

重荷

- 雪対策のお金・労力の負担
- 毎日の雪下り

畏怖

- 人知を超えた存在
- 経験などの物語を生み出す

膨大な除雪の負担

- 雪対策の多大な労力とお金
- 隣の家と雪のつながり

力への要求

- 生きるために健康が必要
- 大盛りの飲食店

ユニークな土着文化

- 織物や民芸品、縄文土器
- わざわざ来た人をもてなす飲食店・お菓子屋
- おいしい食材をおいしく食べる保存・利用技術

雪起点の経済

- 防雪・除雪が起点になる独自の経済
- 雪をブランド活用した食品・体験・生活用品

自然のリズムに従う暮らし

- 季節と共に仕事・気持ちを切り替える
- ダブルワークできる仕組み・職場
- 冬と雪中心のライフサイクル

厳しい冬を生きる知恵

- 先を読んで行動する計画性や長い冬のたくわえ
- 不真面目な人は生きていけないからその地域の安心感
- よいものにお金を使用
- メンテナンスをしながら大切に使用

共同体を維持する術

- 互助を成立させる近所づきあい
- 住民のための祭り

雪と生きる技術

- 除雪・雪像など雪を扱う技術
- スノーダンプ・消費パイプ・克雷住宅

先人への思い

- 開拓し、住み続けた先人への尊敬・感謝・責任感

政治への依存

- 問題解決に政治的な力を要求
- 今も残る田中角栄の影響

力への要求

- 生きるために健康が必要
- 大盛りの飲食店

外部との接点

- おつちを呼んで酒を飲む
- 近所づきあい
- 雪を介した近所づきあい
- 雪が家庭内や社会の仕事を生み出す

外部とのつながり

- 外から人が来訪

外部との接点

- おつちを呼んで酒を飲む
- 近所づきあい
- 雪を介した近所づきあい
- 雪が家庭内や社会の仕事を生み出す

外部との接点

- おつちを呼んで酒を飲む
- 近所づきあい
- 雪を介した近所づきあい
- 雪が家庭内や社会の仕事を生み出す